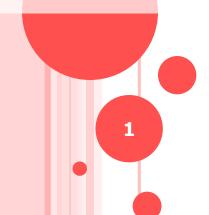
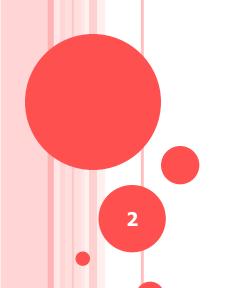
授業科目の履修について説明します。学生便覧と授業要覧を用意して下さい。



平成30年度 大学での授業の選択方法



神戸大学農学部 教務委員長

入学から卒業までの流れ(1)

大学を卒業するには……

- ○4年間(8学期以上)大学に在籍し,
- ○所属学科・コースで決められている科目を学び、
- ○期末試験に合格して,
- o卒業に必要な単位数(<u>126</u>単位)を得る。

入学から卒業までの流れ(2)

平成28年度から神戸大学ではクォーター制を導入しました。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		前	期					後	期		
第15	オーター	第2	2クォータ	_	季休業	第3ク	オーター	第4	クォーター	– 3	春季休業
	授美	美履修					授	業履修			

授業は1コマ90分

週2コマ×8週授業 (2単位)

週1コマ×8週授業 (1単位)

※実験等15週開講が適当な授業については、15週授業とする場合があります。

クォーター制の導入により、2年生の第2クォーターには原則として必修の専門科目(一部コースを除く)がありません。短期留学、インターンシップ、ボランティア等学生生活の選択肢がより柔軟になっています。ただし、短期留学等特別な理由がない限り必修の外国語科目やコースによっては共通専門基礎科目を履修する必要があります。

入学から卒業までの流れ(3)



高学年になるほど専門科目の割合が多くなる。

卒業研究を履修するための条件

※卒業に必要な必要修得単位数のうち、各コースの定める単位 (学生便覧 p.126)を含め98単位を、3年次終了までに修得すること。

大学における授業の区別

A. 全学共通授業科目

- ・・・・国際教養教育院が提供する授業
 - ①基礎教養科目,②総合教養科目,③外国語科目,
 - ④情報科目, ⑤健康・スポーツ科学, ⑥共通専門基礎科目

B. 高度教養科目

・・・・国際教養教育院及び各学部が提供する授業

C. 専門科目

・・・・農学部が提供する授業

D. 資格取得のための科目

・・・・教員免許等を取得するための科目等

①基礎教養科目 ②総合教養科目

別表	第2(第	5条関係)原	夏修要件													
				食彩	環境シ	ステム	 学科			得単位数 命科学和			生命機	能科学和	<u> </u>	_
授業	幹目 σ	区分等	授業科目	生産環学コー	境工	食料環 済学コ	境経	応用動	物学	応用権コース	物学	応用生学コー	命化	環境生	物学	備考
基磷	教養科	·目	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	(6		3		3	(3		6	
総合	教養科	·目	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	(6	(3		3	(3		6	
外国	外国部	吾第 I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	(6		3		3	(3		6	
語彩目	外国部	吾第II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	4	ě	4		1	4	1		4	ドイツ語, フランス語, 中国語及びロシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
情報	科目		別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1]	1		1		1	1	l		1	
健康	・スポ	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1]	1	:	1		1	1	ı		1	
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目	:	2	4	2		2		2	2	2		2	
高度	教養科	·目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目		2	2	2	:	2		2	4	2		2	
	共通専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	10	8	10	1	14	10	10	2	10	
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	15	16	16	8	16	13	14	2	12	10	12	応用動物学コース,応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目 「情報科学1,2」を算入できる。
専門科目			初年次セミナー		1]	1		1		1	1	1		1	
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44		47		35		42		40	0.5	42	0.5	生産環境工学コースについては別に定
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	82	26	81	40	81	37	83	42	85	38	85	める指定科目から修得すること。
自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目		-		-						•					
自由	科目	•	総合科目I及び総合科目II、並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目													自由科目に算入できる単位は上限2単位までとする。
合計	-			13	26	12	26	12	26	1	26	12	26	1	26	

全学共通授業科目(1)

(学生便覧 pp.86-90),

(1)基礎教養科目・・・・6単位 1・2年生のうちに修得すべき科目

人文系、社会科学系、生命科学系、自然科学系の4つの分野から 開講し、基本的な知識及び「ものの見方」を学び、理解することを 目的とした科目群

②総合教養科目・・・・6単位 1・2年生のうちに修得すべき科目

多文化に対する理解を深め、多分野にまたがる課題を考え、複眼的なものの見方、課題発見力を養成することを目的とした科目群

- 1年生の第2クォーターから履修可能
- ⇒要 抽選登録(抽選登録期間5/7-5/14 17:00まで)

3外国語科目

別表	第2(第	5条関係) 原	夏修要件																
				企 彩	L滑管:	ノフテム	学科			得単位数 命科学和		Τ,	LA MA	能科学和	SI.	_			
授業	科目の	区分等	授業科目	生産環	境工	食料環済学コ	境経	応用動コース	物学	応用植コース	物学	応用生学コー	命化	環境生	物学		(備考) ドイツ語, フランス語, 中国語及びシア語のうちから1つの言語を選択のこと。 応用生命化学和大及び環境生物学コースでは情報科「情報科学1,2」を算入できる。 生産環境工学コースについては別にめる指定科目から修得すること。		
基礎	教養科	E .	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	(6	(3	(3	(3		6				
総合	教養科	E .	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	(6	(3	(3	(5		6				
外国	外国語	第I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	(6	(6	(6	(3		6				
語科目	外国語	第II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	4	4	1	4	1	4	1		4				
情報	科目		別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1		1		1		l	1	l		1				
健康	・スポ	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1		1	1	l		l	1	l		1				
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目	:	2	4	2	4	2	4	2	2	2		2		イツ語, フランス語, 中国語及 ア語のうちから1つの言語を選抜 と。 用動物学コース, 応用生命化学 及び環境生物学コースでは情報 情報科学1,2]を算入できる。 産環境工学コースについては別 る指定科目から修得すること。		
高度	教養科	目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目	:	2	4	2	4	2	2	2	4	2		2				
	共通専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	16	8	16	1	14	10	12	2	12				
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	15	16	16	8	10	13	14	2	12	10	12	ス及び環	境生物学	ニコースでは情報	
専門 科目			初年次セミナー		1		1	1	l		l	1			1				
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44	82	47	01	35	0.1	42	83	40	85	42	85				」に定
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	82	26	81	40	81	37	83	42	85	38	85	める指定	科目から	修得すること。	
		自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目		-		-						•						_
自由	科目		総合科目I及び総合科目II,並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目															できる単位は上限	! 2 単
合計	-			1:	26	12	26	12	26	12	26	12	26	1	26				

全学共通授業科目(2)

(学生便覧 pp.90-91)

- 3 外国語科目 1・2年生のうちに修得すべき科目
 - 外国語第 I (必修)……6単位
 - o English Communication A1, A2, B1, B2
 - English Literacy A1, A2, B1, B2
 - Productive English 1,2
 - Autonomous English 1,2
 - 外国語第Ⅱ(選択必修)····4単位
 - ○ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語から1科目選択 (初級A1,A2,A3,A4,B1,B2,B3,B4)

あらかじめクラスが指定されており、履修登録不要。 クラス分けは4/4 午後2時(予定)~鶴甲第一キャン パスK棟1階掲示板付近で発表

卒業に必要な単位数 ④健康・スポーツ科学 ⑤情報科目

リ衣	匆4(第3	条関係) 原	及沙女门						X.更修:	再単位 数	k								
				食料	料環境シ	ステム	学科			0 平位家 命科学和		2	生命機能	能科学 和	P				
授業	科目の	区分等	授業科目	生産サ	環境工 -ス	食料環 済学コ		応用動コース		応用植コース		応用生学コー		環境生				備考	5
基礎	教養科	=	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	(6	(3	(6		6		6				
合给	教養科日	1	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	(6	(3	(6		6		6				
上国	外国語	第I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	(6	(3	(6		6		6				
5科 目	外国語	第II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	4	4	1	4	4	4	4		4	シア語			
青報	科目		別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1]	1	1	l	:	1	:	1		1				
東	・スポー	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1	1	1		l		1		1		1				
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目		2	4	2	4	2	:	2	:	2		2		ドイツ語、フランス語、中国語及 ンア語のうちから1つの言語を選邦 こと。 応用動物学コース、応用生命化学 ス及び環境生物学コースでは情報 「情報科学1,2」を算入できる。 上産環境工学コースについては別 める指定科目から修得すること。		
高度	教養科目	∄	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目		2	4	2	4	2	:	2	:	2		2			コース, 応用生命化学生物学コースでは情報1,2」を算入できる。 学コースについては別目から修得すること。	
	共通専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	10	8	10	1	1.4	10	10	2	10				
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	15	16	16	8	16	13	14	2	12	10	12	ス及ひ	環境生	物学コ	ースでは情報科
押目			初年次セミナー		1	j	1	:	l		1		1		1				
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44		47		35		42		40		42		生産環	境工学	コース	については別に
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	82	26	81	40	81	37	83	42	85	38	85				
		自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目		_		-						-						
由自	科目		総合科目I及び総合科目II,並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目														·目に算 とする。		る単位は上限
信				1	.26	12	26	12	26	15	26	15	26	1	26				`

全学共通授業科目(3)

(学生便覧 pp.92)

④健康・スポーツ科学・・・・1単位

1年生のうちに修得すべき科目

- 健康・スポーツ科学実習基礎1,2(必修)
 ★初回授業時にガイダンスを行い履修クラス(種目)を決定。
 写真1枚(縦4cm×横3cm)を持参のうえ鶴甲第一キャンパス 第2体育館に集合のこと。
- 健康・スポーツ科学実習1,2 (選択)・・・教員免許必修科目

⑤情報科目……1単位

1年生のうちに修得すべき科目

- 情報基礎(必修)
 ★4月10日(火)3限の授業で履修登録等に必要なうりぼーネット
 にログインするためのアカウント通知書配布
- 情報科学(選択)…教員免許必修科目

④、5の<u>必修科目</u>は履修登録不要

6共通専門基礎科目

引表	第2(第	5条関係)原	夏修要件																		
				食彩	環境シ	/ステム:	学科			得単位数 命科学和		,	⊨命機	能科学和	<u> </u>	_					
授業	終料目の	区分等	授業科目	生産環	境工	食料環済学コ	境経	応用動	物学	応用植コース	物学	応用生 学コー	命化	環境生	物学	-	带考				
基礎	教養科	目	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	(6	(6		6	(3		6						
総合	·教養科	目	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	(3	(6		6	(3		6						
外国	外国語	·第I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	(6	(6		6	(3		6						
吾科目		·第II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	1	4	4		4	4	Į		4						
青報	外国語第II 報科目 康・スポーツ科学 度教養科目	別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1		1		1		1	1	1		1							
建康	・スポ	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1		1		1		1	1			1						
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目		2	4	2	4	2		2	- 2	2		2	ドイツ語、フランス語、中国語及び シア語のうちから1つの言語を選択の こと。 応用動物学コース、応用生命化学コ ス及び環境生物学コースでは情報科 「情報科学1,2」を算入できる。 生産環境工学コースについては別に める指定科目から修得すること。					
高度	教養科	目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目		2	4	2	4	2		2	4	2		2						
	共通専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	16	8	16	1	1.4	10	12	2	12						
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	15	16	16	8	16	13	14	2	12	10	12	ス及び環境生物学	コースでは情報科				
計目			初年次セミナー		1		1		1		1	1			1						
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44	82	47	81	35	81	42	83	40	85	42	85						
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	02	26	01	40	01	37	00	42	00	38	00	める指定科目から	修得すること。				
		自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目																		
自由	科目	総合科目I及び総合科目II、並びに全学共通授業科目の外国語と健康・スポーツ科学の選択科目														自由科目に算入で 位までとする。	きる単位は上 <mark>限2</mark> 1				
合計	-		•	1	26	12	26	12	26	1:	26	12	26	1	26		 に算入できる単位は上 <mark>限2単</mark> : する。				

全学共通授業科目(4)

(学生便覧 pp.93-109)

- ⑥共通専門基礎科目……12~16単位
 - 1・2年生のうちに修得すべき科目
 - 数学及び理科の科目群
 - o 数学····微分積分学, 線形代数学, 数理統計学 等
 - ●理科・・・・生物系, 化学系, 物理系, 地学系科目群 とその実験科目
- ★各コース毎に必修科目と選択科目とが決められている。

初年次セミナー

別表	第2(第	5条関係)層	夏修要件																	
				食彩	∤環境シ	⁄ステム:	学科			得単位3 命科学3			生命機	能科学和						
授業	科目の	区分等	授業科目	生産第		食料環済学コ		応用動	物学	応用和コース	[物学	応用生学コー	命化	環境生	物学	_	(備考) ドイツ語, フランス語, 中国語及びにシア語のうちから1つの言語を選択のこと。 応用動物学コース, 応用生命化学コース及び環境生物学コースでは情報科目情報科学1,21を算入できる。 生産環境工学コースについては別に定める指定科目から修得すること。			
基碟	教養科	目	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	6	3	(6		6		6		6					
総合	教養科	目	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	6	6	(6		6		6		6					
外国	外国語	·第I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	6	3		6		6		3		6					
語科 目	外国語	第II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	1		4		4		1		4					
情報	科目		別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1	1	1		1		1		l		1					
健康	・スポ	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1	1	1		1		1		1		1					
			農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目		2	2	2	:	2		2		2		2					
高度	教養科	目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目		2	2	2	:	2		2		2	:	2					
	共通専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	16	8	16	1	14	10	12	2	12					
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コー スごとに同表に定める授業科目	10	15	16	10	8	10	13	14	2	12	10	12	ス及び現	景境生物	勿学コー	-スでは情報	
専門 科目			初年次セミナー		1	1	1		1		1		ı		1					
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44	82	47	81	35	81	42	83	40	85	42	85					に定
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	02	26	01	40	01	37	0.5	42	65	38	05	める指摘	定科目7	いら修得	トすること。	
		自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目、規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コースが認める他学部の授業科目																	
自由	科目		総合科目I及び総合科目II,並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目																単位は上限	2 単
合計				1	26	12	26	12	26	1	26	1	26	1	26					

初年次セミナー

1年生の第1クォーター月曜2限に開講。

第1回~第3回はC101教室で。

第4回目からは各コースに分かれて授業を行います。

第1回目は4/9(月曜日2限目)です。 必ず出席すること。



高度教養科目

別表	第2(第5	5条関係)層	夏修要件													
				A 16	ran interior	ンテム	완화			得単位数 命科学和		Ι,	- Д-НК :	能科学和	21	-
授業	科目の	区分等	授業科目	生産選	境工	食料環済学コ	境経	応用動	物学	応用植コース	· · 物学	応用生	命化	環境生	物学	備考
基礎	教養科	目	別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目		6	(6		3		3	(;		6	
総合	教養科	目	別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	(6	(3	,	3	(;		6	
外国	外国語	第I	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		6	(6	(6	,	3	(5		6	
語科 目	外国語	新II	別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	4	4	1		1	4	ł		4	ドイツ語,フランス語,中国語及びシア語のうちから1つの言語を選択のこと。
青報	科目		別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1	1	1		l		1	1			1	
建康	・スポー	ーツ科学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1]	1		I		1	1			1	
	度教養科目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目		2	4	2	:	2	:	2	4	2		2		
高度	教養科	目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目		2	4	2	:	2	:	2	4	2		2	
	共通 専門	必修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コー スごとに同表に定める授業科目	5	15	0	16	8	16	1	14	10	12	2	12	
	基礎科目	選択	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	10	15	16	16	8	16	13	14	2	12	10	12	応用動物学コース,応用生命化学コス及び環境生物学コースでは情報科「情報科学1,2」を算入できる。
事門 斗目			初年次セミナー		1	1	1		l		1	1	-		1	
		必修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44		47	0.1	35	0.1	42	00	40	0.5	42	0.5	生産環境工学コースについては別に
		選択	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	82	26	81	40	81	37	83	42	85	38	85	める指定科目から修得すること。
自由	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目		-		-											
自由	科目		総合科目I及び総合科目II,並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目													自由科目に算入できる単位は上限 2 位までとする。
合計				1	26	12	26	12	26	13	26	12	26	1	26	

高度教養科目

(学生便覧 p.145)

自分野の専門性を身に付けた学生が、複数の学問分野に関わる課題を学ぶことにより、高度な複眼的思考能力を修得し、異なる分野での価値観や解決手法を理解することを目的とした科目群

国際教養教育院、各学部が提供する高度教養科目群の中から<u>4</u>単位必修ただし、<u>コース毎に必修科目あり</u>

生産環境工学コース

高度教養セミナー農学部生産環境工学入門(3年・1単位) 高度教養セミナー農学部生産環境工学(4年・2単位)

食料環境経済学コース

」 兵庫県農業環境論A, B(2年•各1単位)

応用動物学コース

高度教養セミナー農学部応用動物学入門(3年・1単位) 高度教養セミナー農学部応用動物学(4年・2単位)

応用植物学コース

高度教養セミナー農学部応用植物学入門(3年・1単位) 高度教養セミナー農学部応用植物学(4年・2単位)

応用生命化学コース

高度教養セミナー農学部応用生命化学入門(3年・1単位) 高度教養セミナー農学部応用生命化学(4年・2単位)

環境生物学コース

高度教養セミナー農学部環境生物学入門(3年・1単位) 高度教養セミナー農学部環境生物学(4年・2単位)

専門科目

	又另2(5	第5条関係	た) 暦	程序安件						X 更 修 2	再单位数	Mr.						
					食料	操境シ	ステム	学科			6年世 命科学和		4	生命機	能科学和	¥		
授	業科目	Ⅰの区分∜	\$	授業科目	生産環学コー		食料環 済学コ		応用動コース		応用権コース		応用生 学コー		環境生			備考
基码	と 教養和	科目		別表第1に掲げる基礎教養科目の授業科目	(6	6	3	(3		6	6	3		6		
総合	令教養和	科目		別表第1に掲げる総合教養科目の授業科目		6	6	3	(3		6	6	3		6		
外[E	国語第I		別表第1に掲げる外国語科目の授業科目	(6	6	3	(3		6	6	3		6		
語目		国語第II 別表第1に掲げる外国語科目の授業科目		4	4	4	1	4	1		4	4	1		4		シス語,中国語及びい いら1つの言語を選択の	
情報	服科目			別表第1に掲げる情報科目の授業科目		1	1	ļ	1	l		1	1	l		1		
健原	表・スプ	ポーツ科	学	別表第1に掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		1	1	l]	l		1	1	l		1		
	度教養科目	農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち自 コース指定科目	:	2	2	2		2		2	2	2	:	2				
高原	度教養和	科目		農学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目,及び他 学部,国際教養教育院開講の高度教養科目	:	2	2	2	2	2		2	2	2	:	2		·
	共通専門	明	修	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	5	15	0	16	8	16	1	14	10	12	2	12		
	基礎科目		夬	別表第1に掲げる共通専門基礎科目の授業科目のうちから各コー スごとに同表に定める授業科目	10	13	16	10	8	10	13	14	2	12	10	12	ス及び環境生物	-ス,応用生命化学コ∽ 7学コースでは情報科↓ 」を算入できる。
専F 科 I	月 目			初年次セミナー	:	1	1	L	1	l		1	1	l		1		
		必	修	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	58 又は 44	82	47	81	35	81	42	83	40	85	42	85		ュースについては別にタ
		選	夬	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科目のうちから各コースごとに同表に定める授業科目	24 又は 35	62	26	61	40	91	37	83	42	89	38	85	める指定科目が	いら修得すること。
		自	±	別表第1に掲げる専門科目(共通専門基礎科目を除く。)の授業科 目,規則第3条第3項により臨時に開設する授業科目及び各コース が認める他学部の授業科目														
自日	由科目	•		総合科目I及び総合科目II、並びに全学共通授業科目の外国語と 健康・スポーツ科学の選択科目													自由科目に算 <i>プ</i> 位までとする。	、できる単位は上限 2 1
合	+				1:	26	12	26	12	26	1	26	12	26	1	26		

専門科目

(学生便覧 pp.93-111, 授業要覧 pp.33-51)

○ 学部共通で設定している必修科目

・・・「食の倫理」,「緑の保全」

- 学科・コースの必修科目
- ○学科・コースの選択必修科目
- 学科・コースの選択科目

★学科, コースによって科目が指定されている。



履修登録時の共通注意事項

- ★科目名のあとに算用数字が付く科目については、数字 の小さい順から履修すること。
- ★同学期に開講される1,2または3,4が付く科目は必ず セットで履修登録を行うこと。
- ★ 1,2または3,4が付く科目は両方とも合格することが望ましい。
- ★資格・免許に必要な科目として認定されている科目は 必ず1,2または3,4両方とも合格しなければ当該資格・ 免許の取得はできない。
- ★授業要覧 pp.3-19を熟読すること。

履修登録をするために

☑学生便覧と授業要覧をみて、自分に必要な単位を把握する。

履修登録期間

前期:情報基礎の授業(4/10)後~4月19日(木)17:00まで

後期:10月1日(月)~10月15日(月)17:00まで(予定)

この期間までに入力を完了し、かつ、履修登録届一覧を教務学生係に提出すること。(締切厳守)

※履修登録前であっても、履修予定の授業には必ず初回 から出席してください。





▶よくある質問と回答

▶お問い合わせ先一覧

▶アクセス・キャンパスマップ

トピックス

2014/3/26 平成26年度官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム

~ 応募に関する情報(2)

留学促進キャンペーン「トビタテ!留学JAPAN」留学しよう!トークライブ~活躍のフィー 2014/3/24

ルドは世界だ!~の参加者募集について

2014/3/20 地域連携活動を公募します

大学院新入生の皆さんへ日本学生支援機構奨学金「進学届」の入力について 2014/3/20 学部新入生の皆さんへ 日本学生支援機構奨学金「進学届」の入力について 2014/3/20

平成26年度日本学生支援機構奨学金大学院奨学生の募集日程等について 2014/3/20

平成26年度官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム 2014/3/20

~ 応募に関する情報 (1)

灘区とのまちづくりチャレンジ事業を募集します 2014/3/17

カテゴリ一覧

授業/履修登録

- 履修登録/履修取消
- 履修登録・抽選登録/履修取消期 間/成績発表の期間
- GPA
- キャンパスカレンダー
- 授業時間割
- ⋑ シラバス
- 母 授業評価アンケート
- ② 交通機関の運休、気象警報の場合 における授業、期末試験の休講措置
- 動計画停電が実施された場合の授業 及び期末試験について
- 對学部·研究科教務担当窓□一覧

学生生活

- SNS等による情報に関する注意
- 学生生活に関するマナーとルール
- 願出、届出等手続き一覧
- 各種証明書
- ₿ 授業料
- 授業料・入学料免除などの制度
- 奨学金制度
- 学生寮
- ■課外活動
- 母保険制度
- ⊉ 学生表彰制度
- 学生相談
- 運動施設・課外活動施設の概要
- 学習・休息を行う環境の状況

- 健康/安心/安全
- □ ハラスメントに関する相談 □ こころとからだの健康相談
- ■月ましか」関連情報
- ⑤「インフルエンザ」関連情報
- 障害学生支援
- 危機管理マニュアル
- 公益通報
- ❷ 情報倫理

🔔 緊 急 情 報

! 現在、緊急情報はありません





学部・大学院等へのリンク

学部

- · 全学共通教育部 👨
- ・文学部 👨
- · 国際文化学部 👨
- ・発達科学部 👨
- ・法学部 👨
- ・経済学部 👨
- ・経営学部 👨
- ・理学部 👨
- · 医学部医学科 👨

神戸大学トップページ→在学生の方へ→うりぼーポータル→

神戸大学英語外部試験の案内。

ų,

神戸大学では、入学後にプレイスメントテストとしゃて英語外部試験を行います。入学時の英語能力を把握やすることは、将来の目標に応じて4年間の英語学修のや計画を立てる上で重要です。またこの結果は、1年次や後期以降の英語科目の特別クラスの選抜又は英語必修・科目の単位授与に活用しますので、必ず受験してくだっさい。受験料は無料、申込みは不要です。4

Ρ

試験日 4月8日(日)√

له

試験会場 神戸大学鶴甲第1キャンパス

(神戸市灘区鶴甲1丁目2-1)√

B棟, K棟, C棟√

阪神電車「御彪」,JR「六甲道」,阪急電鉄「六甲」から神戸市バス。 16系統又は 106系統「六甲ケーブル下」行き乗車,「神大国際文化。 学研究科前」下車(参考:阪急電鉄「六甲」から徒歩 25分)。

ų

市バス 16・106 系統「神大国際文化学研究科前」↓

神戸大学英語外部試験の種類・試験時間↓

学部↩	外部試験の種類₽	入室√ 開始√	試験√ 開始√	終了 予定4	試験室₽	¢)
農学部₽	TOEFL-ITP₽	13:45₽	14:00₽	16:30∉	B109 • B210₽	٦

※試験室については、4月4日(水)以降に鶴甲第1キャンバス、学生センター前掲示板(B棟・南側、自動扉前付近)で確認してください。↓



英語外部試験について

● 農学部1年生は全員4月8日(日)にTOEFL-ITPを受験してください。申込不要・受験料無料

英語外部試験スコアの活用について

- 英語外部試験で高得点を取得した学生は、そのスコアを 1年生後期以降から英語特別クラスの履修 又は2年生前期の英語必修科目の単位授与 のどちらかに活用できる。
- 英語特別クラスを希望する者は5月に申請
- 英語必修科目の単位授与を希望する者は5月または来 年1月に申請